

## 幼児教育の充実について

### 〈課題〉

- 非認知能力の形成等、将来に最も影響を与える幼児教育の更なる充実
- 自然豊かな千葉県ならではの環境を生かした幼児教育の充実
- 保育士等の資質・能力の更なる向上と保育所における教育の充実

### 〈施策の方向性〉

- 自然保育への取組に対する認証及び支援
- 県内の実態把握及び施策の方向性を検討
- 教員研修の充実

### 〈これまでの会議での主なご意見〉

- 人間本来の力、生きる力を一番育む幼児教育、非認知能力を育てる部分に力を入れていかなければならない。
- 待機児童の解消という量の部分から、徐々に質の部分に比重を移していかなければいけない、移していけるタイミングが近づいている。
- 自然体験や野外保育を積極的に行う自然保育について、支援や認証の枠組みを検討していくことも千葉県として目指していくべき分野。
- 一生懸命遊んだ子供は何事にも一生懸命取り組み、そこから自立した性格が芽生えて、自己肯定感が高まっていく。
- 1歳から5歳ぐらいの脳が発達する時期にどんな体験をするかが将来のパフォーマンスにつながるということはスポーツ界でも言われている。
- 子供の特性に応じて、特別に設計され慎重に実施されたプログラムが必要。
- 幼児教育だけで独立して考えるということではなく、幼保小の三つの連携を意識して質保証をしていくことが大事。
- 経験を積んだ保育士等の確保のための労働環境の改善が必要。
- 1歳までのアタッチメントが一番大事。支援は早ければ早いほどいい。
- 子供たちが自分で見つけた、自分で気づいた、そして自分で学んだことが非常に大事。

## 1 令和5年度実績

### 【自然保育に対する支援等】

#### (1) 自然保育推進事業

自然体験活動を通じて、子どもの主体性や創造性を育む「自然保育」に取り組む団体の活動を支援する「千葉県自然環境保育認証制度」を創設。関係団体向けの制度説明、申請受付を経て、令和5年9月29日に認証式を開催し、76団体を認証

### 【幼保小の連携】

#### (2) 接続期のカリキュラム千葉県モデルプランの活用

既存のモデルプランについて、研究協力園において実践を行い、成果をとりまとめ、文書及び県ホームページにて周知し活用を促した。

### 【教職員の資質向上】

#### (3) 保育の質の充実に向けた調査事業

県内の保育状況等を分析するため、県内の保育施設100か所程度に調査を実施。令和6年度に調査報告書とあわせ、保護者が保育所等を選ぶ際の参考となるよう公表用資料を作成し、市町村と共有するとともに、県ホームページ等で公開予定

#### (4) 保育アドバイザー派遣事業

保育所における遊びを通じて、数量や図形への関心・感覚の育成につながるような視点を取り入れた活動の実践に向け、専門的な知見を有するアドバイザーを派遣

#### (5) 幼児教育アドバイザーの派遣

各種研修会等による周知の結果、昨年と同数程度の要請回数があった。保育所からの派遣要請も引き続きあり、年間を通して継続して派遣依頼する園もあった。

※派遣後のアンケート

- ・幼保小架け橋プログラムの概要や幼児期に育ってほしい10の姿など、幼保小の教職員が共通理解しておくべきことをわかりやすく説明していただいた。
- ・現在の子どもの姿と担任である保育士の援助や環境構成の状況から、すぐに生かせる保育のヒントをいただき、参考になった。

#### (6) 幼稚園教育課程研究協議会の開催

- ・各地域の幼稚園が作成した実践レポートを周知し、優れた実践事例を共有
- ・幼保小の円滑な接続、及び幼児期の運動遊びに関する動画等を配信し、各園及び学校等において研修等で活用

(7) 非認知能力及び理系分野に関する興味関心を育む実践的指導力を身に付けるための研修

幼児期から理系分野に興味を持たせる方法として、知識を教えるのではなく、興味や自発性を引き出すような声かけ方法等、実践的指導力を身に付けるための研修を実施

※受講生のアンケート

- ・理系教育に関する研修では、自然科学の興味の持たせ方について、遊びを通して具体的に教えていただくととても分かりやすい内容であった。また、小学校の生活科へのつながりについての説明もあり、幼保小の接続も意識した内容であった。

【その他】

(8) 専門高校の生徒や教員による体験授業の実施

専門学科や特色あるコースを設置する県立高校の教員及び生徒が、近隣の小・中学校及び幼稚園・保育園を対象として、専門学科等の学びを教える体験授業等や広報活動を実施 (実施校 73 校)

## 2 令和6年度新規・拡充事業

【自然保育に対する支援等】

(1) 自然保育推進事業

自然体験活動を通じて、子どもの主体性や創造性を育む「自然保育」に取り組む施設や団体等の活動を支援する「千葉県自然環境保育認証制度」の普及促進のため、より積極的な広報活動を実施

【幼保小の連携】

(2) 幼児教育の質を高める研修に「幼保小の架け橋プログラム研修」を追加

各幼児教育施設や小学校の中心的な教職員を対象に、大学教授や幼児教育アドバイザー等を講師として接続期のカリキュラムモデルプランを活用し、幼保小の接続に特化した研修を実施